

## 特集にあたって

北海道立林業試験場では、道内の林業に関する試験研究を行うだけでなく、その試験研究成果をひろく普及することも主要な業務としています。

成果の普及は、講師の派遣、現地研修会への参加、林業相談、成果の展示、刊行物の発行、研究発表とさまざまな手段を通じて行っており、この『光珠内季報』も普及業務の一貫として発行しています。

なかでも当場に寄せられる林業相談は、件数がたいへん多く、年々増加の傾向にあり、直接的な普及活動として好評を博しています。

そこで今回光珠内季報58号では、数ある相談の中から現在現場で行っている研究課題と密接に関わっている問題を取り上げ、その内容の一端を紹介するとともに、林業相談のいっそうの利用を呼びかけることを目的として、林業相談特集を編集しました。

### 林業相談の現状

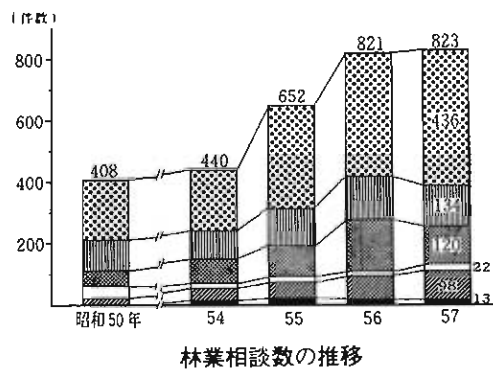
最近8年間の林業相談件数の推移と部門別の内訳は図のとおりです。件数は年々着実に増加しており、昭和57年度には823件、1日平均約3件の相談が寄せられています。

部門別では、緑化樹・庭木関係が最も多く昭和57年度では全体の約半数の436件で、担当の樹芸樹木科では業務のうちで大きなウエイトを占めています。次いで森林保護関係、造林・育種・土壌関係の順となっています。最近では、防災・自然保護関係の相談が急激に増加の傾向にありますが、これは行政のうごきやマスコミ情報による自然保護意識の高まりと関わりがあると考えられます。

### 今後の林業相談

林業相談の件数は、今後も増加していくと予想されます。またその内容も社会情勢の変化につれて多様化していくことが考えられます。

このため当場ではパーソナルコンピューター等を利用した技術情報の提供や、視聴覚機器を使った技術相談など現場の多様化する要望に的確かつ速やかに対応できるよう林業相談システムの整備を図っていきたいと考えています。



### 林業相談の方法は……

林業相談は、直接来場される方法と電話・文書による方法がありますが、どちらも平日は常時受付けています。各部門の担当は下表にしめたとおりですので、直接担当科・支場へ照会して下さい。

なお来場を希望される方はあらかじめ電話連絡いただくとスムーズな対応ができるかと思えます。

	担 当 (内線)	相 談 内 容
北海道立林業試験場 〒079-01 美幌市光珠内町東山 ☎ (01266) 3-4164	特別研究員 (18) 経 営 科 (29)	林業経営に関すること。
	樹 病 科 (30)	森林の病害防除、菌類の林業的利用に関すること。
	昆虫野兎鼠科 (31)	森林の虫害・野兎鼠害の防除に関すること。
	造 林 科 (33)	育苗技術、育林技術、天然林の施業に関すること。
	育 種 科 (35)	林木の育種に関すること。
	土 壌 科 (37)	林地・苗畑の土壌、肥培に関すること。
	防 災 科 (39)	防災林造成技術、治山工法に関すること。
	樹 芸 樹 木 科 (40)	街路樹、庭園・緑地用樹木等環境緑化木に関すること。
	樹 芸 樹 木 科 (40) 特別研究員 (17)	特用樹木に関すること。
	自然保護科 (41)	自然保護、植生の維持保全、野生鳥獣の保護に関すること。
道 南 支 場 〒 041 函館市桔梗町 372 の 2 ☎ (0138) 47-1024		道南地方の林業技術に関すること。
道 東 支 場 〒 081 上川郡新得町西二線 ☎ (01566) 4-5434		道東地方の林業技術に関すること。
道 北 支 場 〒 098-28 中川郡中川町菅 300 ☎ (01656) 7-2164		道北地方の林業技術に関すること。

(企画室)